

資料 2-(4)

基本事項

① 投入（支出） ・ ③ 結果（収入）

② 内容・活動

③ 結果

令和6年度 アーツ前橋事業評価調書(2)

	事業名	あーつひろば				
④ 成果	〔④成果〕 期待に対する結果 ・観覧者層のターゲット ・ねらい	観覧者層の ターゲット (転記)	ターゲット: 当館に来館したことの無い親子(隣接施設利用者等)			
		成果	元気21の連絡通路に作品を展示したり、プレイルームやこども図書館でチラシを配布したことから通りすがりに参加してもらうことが増えた。			
		ねらい1 (転記)	①初めて来館して造形活動や鑑賞を体験しながら、当館は自己や他者の表現が認められる場所であることを理解する			
		成果	6月の「あーつひろば」ではアーティスト、参加者同士、スタッフと交流を図りながら、楽しんで作品を制作しているようであった。また8月に開催した際は制作した作品を元気21の連絡通路に展示することで、他の参加者が作った作品も鑑賞することができた。			
		ねらい2 (転記)	②サポーターが企画や運営へ継続的に関わる。			
		成果	8月と3月の「あーつひろば」の企画「ウマくなくてもいいスタジオ」は、サポーターの自主的な活動を促す目的で行っており、サポーターが企画のアイデアを出したり、運営に関わっている。今回、8月は荒井良二展のため旅をする気分で乗り物制作と絵本作り、3月ははじまりの感覚展に合わせ音を体感できるような作品制作や、目隠しされた物を触るコーナー、展示絵本などをサポーターが工夫し運営した。			
		ねらい3 (転記)	-			
		成果	-			
⑤ 波及効果	個別評価 ※記入日を()内に入れてください ※概ね1年経過毎に再確認して修正	<1～6は、記入項目の例・無い場合は削除。独自の評価項目の設定可。記入日を記載> 1. 参加作家のその後の活動を評価⇒後日記入 2. アーツの事業に対して、誰がどのような価値を見出したのかを評価 ⇒毎回「あーつひろば」の開催を心待ちにしているという参加者の声も聞かれた。 3. 事業関係者(作家、運営、イベント参加者、地域住民)たちとの間で生まれた交流やその後の関係性の構築を評価⇒サポーターの自主企画「サポーターの美術」が継続的に開催されている。 4. 事業の実施に伴う波及効果⇒後日記入 5. 地域資源の活用という点での効果⇒後日記入 6. 意図せざる(思わぬ)効果⇒後日記入				
自己評価(担当者)	効率性 ①:③ 事業が効率的だったといえるか	1.非常に良い	<input checked="" type="radio"/> 2.良い	3.普通	4.劣る	
	合目的性 ②:④ 事業の目的を達成したといえるか	1.非常に良い	<input checked="" type="radio"/> 2.良い	3.普通	4.劣る	
	事業の将来性 ②:⑤ 館の事業に対し将来性があるか	1.非常に良い	<input checked="" type="radio"/> 2.良い	3.普通	4.劣る	
	社会的将来性 ③:⑤ 社会への影響に将来性があるか	1.非常に良い	<input checked="" type="radio"/> 2.良い	3.普通	4.劣る	
	課題・改善点	・一斉での新規募集を行っていないため、サポーター高齢化が進んでいる。新規募集するにあたって、サポーター制度について目的や意義を職員間で再確認したい				
引継ぎ事項 (特記事項)						
コメント・意見	館長 副館長	年間の周辺イベント日程等を考慮しサポーターの協力を得ながら来館者参加のワークショップを開催することができた。また、他の団体と連携するなど工夫することで参加者も伸びている。学芸員の充足を図る中で、教育普及事業のさらなる充実を検討していく必要がある。				
	運営 評議会					